

一般社団法人

手話エンターテインメント発信団

oi oi

エンタメの力で社会を変える

本気だからこそ
たまには
ぶつかっていい



今月 BARRIER CRASHを届けた人数

(延べ人数)

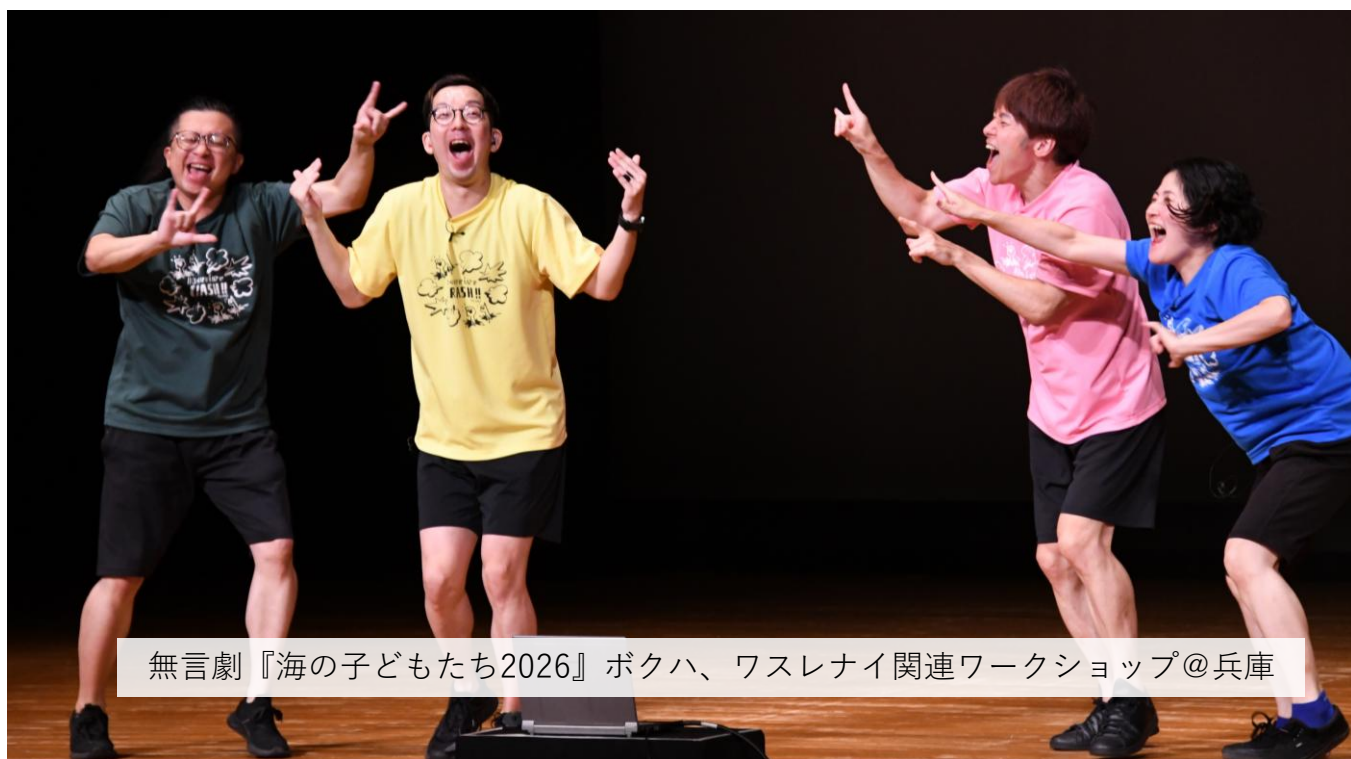
1,160名



なかつ手話クラブ@大阪



難聴理解のための授業体験会 @奈良



無言劇『海の子どもたち2026』ボクハ、ワスレナイ関連ワークショップ@兵庫

今月のピックアップイベントは次のページから▼

オイトーク！特別編 いえー——！な話



聴覚障害者のアレコレについて楽しく聴きながら学べる人気のトークイベント。

2026年度、第2弾のトークテーマは「家！」

世の中にはもちろん、いろんな家族のカタチがあると思いますが、それがきこえない子供たちの育ち方にどのように影響しているのか？
おいおいのきこえないメンバー達の赤裸々なトークに会場は大爆笑(*´艸`)
アンケートでは「神回」ではないか？という声が出るくらい大好評でした。

1部・2部共に満員御礼、ありがとうございました！



スペシャルゲスト

oioi代表“のぶ”の姉 **ひろみ**さん

大阪府出身。大阪市立豊学校（現・大阪府立中央聴覚支援学校）専攻科卒業。現在は公務員として26年間勤務する傍ら4歳の娘を育てる母でもある。高校3年生の時、母が身体障害者スポーツ大会に出場したことをきっかけにバレーボールに興味を持ち、ろう学校専攻科入学後に本格的に競技を始める。デフリンピックに日本代表として出場。2005年メルボルン大会、2009年台北大会を経験する。仕事、競技、子育てと、さまざまな立場を経験してきた一人として、自身の歩みや家族との関わりについて語る。



オイトーク！参加者の声



これまでのオイトークの中でも、伝説の回と言っていいのではないのでしょうか。驚いたり、納得したり、大笑いしたり、突っ込んだりしながら、あっという間の素敵な時間でした。

笑いを交えながらリアルなお話を聞けて最高でした！



普段、他人にはなかなか聞けない話なので、“家の話”というテーマ自体が最高でした。

家族全員がきこえない家庭や、家族の中で本人だけがきこえない家庭、きこえない人ときこえる人がいる家庭など、さまざまな家族の形や立場からのお話を聞いたことがよかったです。



家族構成や育ってきた環境によってさまざまで、一人ひとりの個性なのだと感じました。

同じ家庭で育った姉弟でも、性格や障害を受け入れるタイミング、手話を使うことへの思いがそれぞれ異なっていたことが印象に残りました。



皆さんの家族の話を聞いて、自分の家庭についても振り返ってみたいと思いました。



今回の続きや、親御さんの思いも聞いてみたいです。



鍵を落として夜中にインターホンを連打したお話…最後は笑って終わったというエピソードが印象的でした。



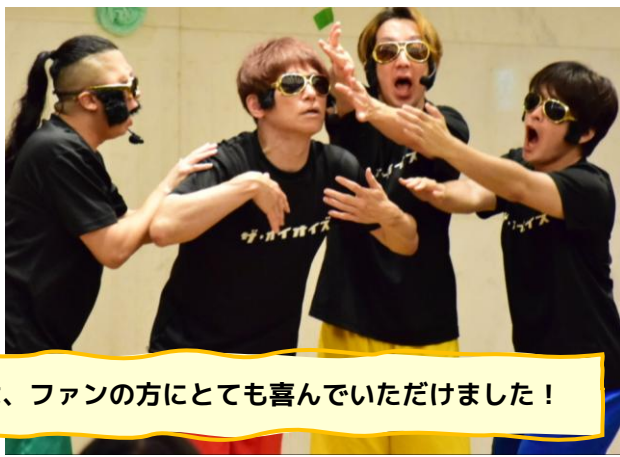
COMMON BEAT FES

– 表現文化祭 – in OSAKA2026



2026年7月12日(日)特定非営利活動法人コモンビート様が主催するCOMMON BEAT FESにパフォーマンス出演させていただきました！
私たち、ザ・オイオイズはひさびさのクラシックスタイルで登場し、会場のお客様たちとみんなと一緒に「手話」の表現を楽しみました！

※画像クリックで当日の様子動画がご覧いただけます！



ひさしぶりのもみあげサングラス&カラーパンツスタイルは、ファンの方にとっても喜んでいただけました！

株式会社MCCマネジメント ×JDFA社内研修

📅 2026年7月8日(水) ⌚ 60分 👤 従業員の方々



(一社)日本ろう者サッカー協会のスペシャルパートナー企業である
株式会社MCCマネジメント様の社内研修の講師を担当させていただきました。

<プログラム>

- ①導 入：目的共有・アイスブレイク
- ②表現ワーク：ジェスチャーゲーム、
コミュニケーション方法の多様性
表情の重要性
- ③手話ワーク：日常生活で使える簡単な手話
- ④ま と め：今後の日常生活への落とし込み





イオンモール松本 & ホテル玉之湯車坐コンサート



3年連続となるイオンモール松本でのワークショップ
なんと定員を超えるたくさんの方にお越しいただきました！ありがとうございます！

主催：松本ヘルス・ラボ 市民の健康づくりとヘルスケア産業の振興を同時に目指す官民連携のプラットフォーム



ホテル玉之湯さんにて宿泊者向けワークショップ



毎年の訪問を重ねる中で、スタッフのみなさんのきこえない人への対応が、少しずつ向上していると感じます！

- ・料理に説明用紙が添えられる
- ・スタッフさんがマスクを外す、ジェスチャーを自然に使うなどの配慮

松本浅間温泉ホテル玉之湯

1300年の歴史ある温で、大自然に囲まれた美人の湯として愛されています。

●車坐コンサート：旅の醍醐味はふれあいだと考え、年間

学校向け啓発事業

7月には7校の小学校・中学校・大学にて 約**500名**の
児童・生徒のみなさんに手話や聴覚障害についてお伝えしました。

2日(木)箕面市立萱野北小学校



大阪

13日(月)松原市立松原第二中学校



大阪

15日(水)大阪経済大学



大阪

21日(火)大阪市立南恩加島小学校



大阪

22日(水)大阪市立大池小学校



大阪

29日(水)大阪市立長吉出戸小学校



大阪

<小学校の先生方より>

- 子どもの興味の引きつけ方が上手すぎて、教員として私自身の学び

1日(水)大阪教育大学



大阪教育大学「みらい教育共創パートナー」として、
私たちを推薦してくださった野田先生が担当する
「特別支援教育の実践」の授業の中で、聴覚障害と
手話をテーマにしたワークショップを行いました！！



学生のみなさんのすてきな表情は、ホームページTOPの動画でもご覧いただけます！



■野田先生から学生へのメッセージ

今回の授業は、私にはなかなかできない授業だと感じました。
学生のみなさんが、楽しみながら自然と授業に引き込まれて
いく姿を見て、まさに「エンターテイメント×学び」を体験
してくださったなと思っています。

これからみなさんが教員になったとき、何を教えるか、は
もちろん大切ですが、「どうすれば子どもたちが興味を
持ってくれるか」ということも、大切にしてほしいです。

大阪教育大学 学生さんの声



すごく楽しかったし、
エンタメとしての本気の力を
感じれた。学びがたくさん
あったよい1時間でした。

配慮が足りていないの
ではなく、配慮の方向が
間違えているとわかった。



今回一番印象に残ったのは、「聞こえる」と「聞き取れる」は
違うということです。私は今まで、聞こえているなら相手の話は
理解できるものだと思っていたので、自分の認識が大きく変わりました。



大切なのは、「この方法しかない」と
決めつけるのではなく、その人に
合った方法を自然に選んで、お互いが
伝え合えるようにすることだと
感じました。

実際に聴覚障害のある方から
直接お話を伺うことで、
教科書などでは得られない
説得力や納得感があつた。



将来小学校教員を自指す立場として、一人一人の子どもの状況を理解し、
その子に合った支援や声かけを考えることが大切だと改めて感じた。

実際に聴覚障害の人と
関わることに抵抗が

今月のBARRIER CRASH

決めつけないことの大切さ



以前、とある小学校で行われた教職員向けの人権講演会で「聴覚障害があるからって一番前の座席に固定しないでほしい前に座れば分かりやすくなるとは限らないし、どの席が良いかは一人ひとり違う。だからこそ、どこが良いのかは本人の気持ちもちゃんと確認してほしい！」という話をさせていただきました。

そこから数年後のお話です。
ひょんなことからその講演会に参加されていた教職員の方からその後の様子について伺う機会がありました。

なんと、当時の講演会をきっかけに、その小学校では聴覚障害児の座席を一番前に固定するのをやめたようです。そして、その都度、聴覚障害のある子ども達と話をしながら、どの席が一番分かりやすいのか？を確認しているのだそうです。



そうすると、子ども達が心を開いてくれるようになり、以前よりいろいろなことを話してくれるようになったと喜んでおられました。

障害があるから・・・と勝手に決めつけた配慮を行うのではなく、しっかり本人と話をしながら配慮していく方が嬉しいですね。

これぞまさにバリアクラッシュ！ありがとうございました！



講演でお伝えしたことが、先生たちの行動を変え、
その先で子どもたちの学校生活まで変えていく。
そんな「好循環」をこれからも増やしていきます！！

いろいろな衣装があると思いますが どうやって決めていますか？

衣装は、イベントの雰囲気や
ネタの内容に合わせて決めています。

子どもたちが多い日は、
元気に見えるカラーTシャツや短パンスタイル。
地域イベントでは黄色のボーダーシャツを着たり、
ちょっとお祭り感を出したい時は法被を着たりします。

企業研修や講演など、きちんと感を出したい日は
ジャケットスタイルにすることもあります。

ただ、oioiは講演中もけっこう動くので、
ジャケットも、実は伸縮性のある動きやすいものを選んでいきます。

色はメンバーカラーが基本ですが、人数が多い日は早い者勝ちです(笑)

みなさんは、どのスタイルのoioiが好きですか？

次はどんな衣装で登場するのか、どうぞお楽しみに！

